

100年続く江古田の銭湯「浅間湯」を守り続ける。 東京都の公衆浴場承継マッチング事業を通じて事業を承継。 2026年12月上旬にリニューアルオープン

合同会社OFURO WORKS（東京都練馬区、代表社員：宮井康太郎）は、東京都公衆浴場承継マッチング事業を通じて、東京都練馬区で長年親しまれてきた銭湯「浅間湯（せんげんゆ）」の事業を承継しました。また、2026年12月上旬に外観・ロビー・脱衣所・サウナなどを改装しリニューアルオープンいたします。



リニューアル後の外観イメージ（完成予想図）

浅間湯は1927年（昭和2年）に東京都練馬区で開業し、約100年にわたり地域の皆様に親しまれてきた銭湯です。前経営者の高齢化や設備の老朽化により廃業も検討していた中、江古田の街の銭湯文化を守っていくため、近隣地域で育った宮井康太郎が代表社員を務める合同会社OFURO WORKSが事業承継し、一時休業後にリニューアルオープンをすることになりました。

さらに、地域の皆様に愛される銭湯として進化させるため、近隣の日本大学芸術学部との産学連携により浅間湯の新たなロゴやキャラクターなどを制作、生まれ変わる浅間湯のシンボルとして定着させていきます。また、11月1日からCAMPFIREにて設備などのリニューアルに向けたクラウドファンディングを実施。歴史ある銭湯を残すだけでなく、学生や若い世代も訪れる江古田の新たな交流拠点に進化させていきます。

街の銭湯文化を守るために

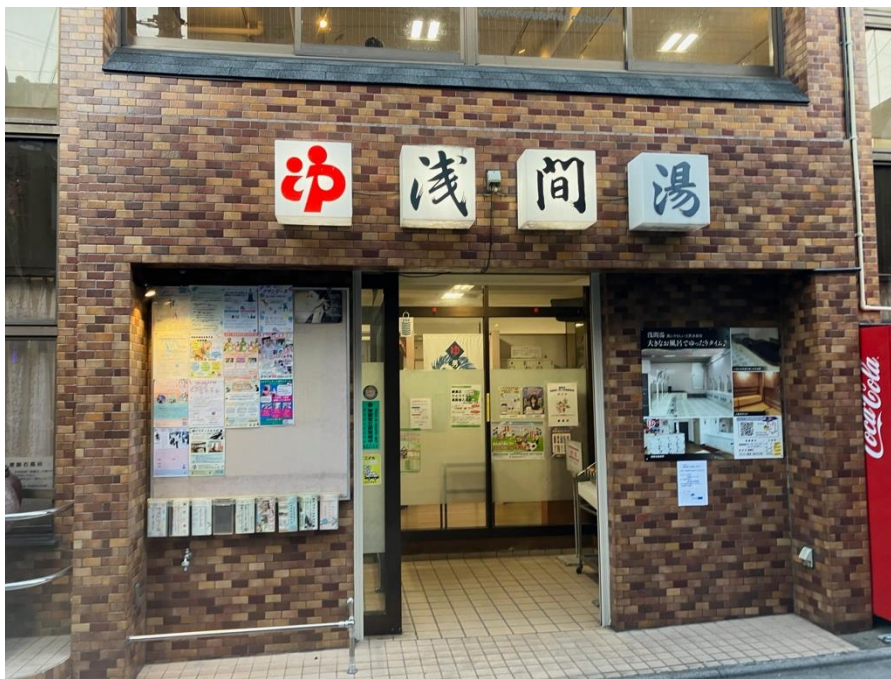
東京都公衆浴場承継マッチング事業により事業承継

かつて街の暮らしに欠かせない存在だった銭湯は、家庭風呂の普及に加え、経営者の高齢化や後継者不足、設備の老朽化などを背景に減少を続けています。東京都内の銭湯は、2015年末の628軒から2025年末の417軒へと、10年間で211軒、約34%減少※しました。地域の人々が世代を超えて交流できる、貴重な場所が失われつつあります。

江古田の「浅間湯」は、昭和2年（1927年）の開業以来、約100年にわたり地域の暮らしを支えてきた銭湯です。前経営者は3代目。長年にわたりご家族で営業を続け、地域の皆様に親しまれてきましたが、経営を担うご家族の高齢化や設備の老朽化により、今後の営業継続が難しい状況にありました。

こうした中、東京都と東京都公衆浴場業生活衛生同業組合が連携して進める「東京都公衆浴場承継マッチング事業」を通じて、浅間湯と合同会社OFURO WORKSの代表社員・宮井康太郎がマッチング。歴史ある銭湯を廃業させることなく、次世代へ引き継ぐことになりました。

今回の事業承継は、後継者不足に悩む銭湯と、新たに銭湯経営を志す人材をつなぐ取り組みの一例です。浅間湯の歴史と地域に根付いた銭湯文化を守りながら、新しい時代に合った経営へと進化させることで、銭湯の持続可能な未来を目指します。



現在の浅間湯



東京都公衆浴場業生活衛生同業組合 副理事長
佐伯 雅斗氏

「銭湯の担い手養成講座」を受講・修了したからといって、すべての方が事業承継をできるわけではなく、入念な準備をしチャンス을待っていた方だけがその権利を得ることができます。宮井さんのやる気と行動力は目を見張る素晴らしいもので、この事業承継はきっと後進へのさらなる励み・目標となることでしょう。今後は銭湯主として地域の方・銭湯ファンの方にさらに愛される浅間湯を育てて下さることを期待します。

※出典：東京都「東京の公衆浴場はどうなっているの？（東京の公衆浴場の現況）」、各年12月末時点

歴史ある銭湯を守り、新しく生まれ変わる

大規模リニューアルを実施

約100年にわたり江古田の街で親しまれてきた浅間湯を、さらに次の100年へつないでいくため、2026年12月上旬のリニューアルオープンに向けて大規模な改装を実施します。

今回の改装では、外観・ロビー・脱衣所・サウナを中心に設備と空間を刷新。外観は街並みに調和する落ち着いたデザインへ、ロビーや脱衣所は木の温もりを感じられる、ゆったりとくつろげる空間へと生まれ変わります。また、サウナにはメトス製の電気サウナヒーターを新たに導入し、セルフロウリュにも対応。これまでの常連のお客様はもちろん、江古田に通う学生や若い世代、サウナ愛好家にも足を運んでいただける、より魅力的な銭湯を目指します。

単なる設備更新ではなく、地域の人々が日常的に集い、世代を超えて交流できる「街の銭湯」として、新たな価値を生み出していきます。



リニューアル後の外観イメージ（完成予想図）



開放感のあるロビー（完成予想図）

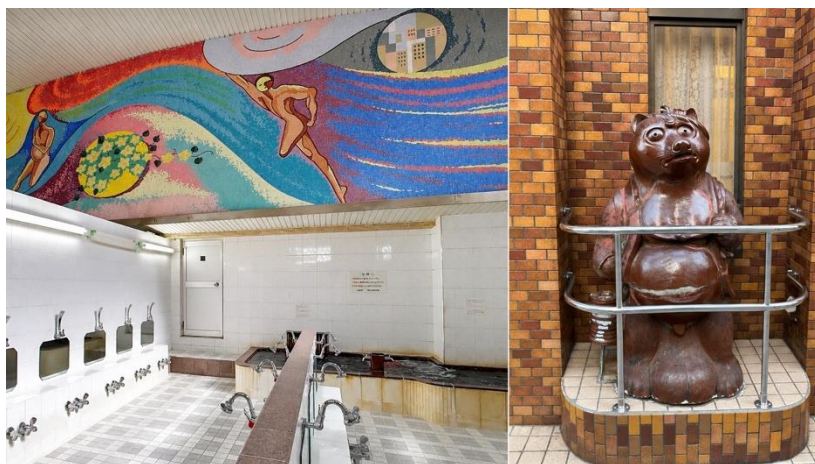


サウナにはメトス製の電気サウナヒーターを導入

一方で、浅間湯が長年にわたり地域の皆様に愛されてきた理由は、新しい設備だけでは生み出せない、歴史の中で育まれた温かさや親しみやすさにあります。

今回のリニューアルでは、昔ながらの面影が残る浴室をはじめ、「家族愛」をテーマに描かれた色鮮やかなオリジナルのタイル絵、そして店先で長年お客様を迎え続けてきた信楽焼のたぬきなど、浅間湯ならではの象徴を大切に残していきます。

新しくするものと、変わらず守り続けるもの。その両方を大切にしながら、長年通ってくださった方には懐かしさと安心感を、初めて訪れる方には新鮮な魅力を感じていただける銭湯へ。浅間湯が積み重ねてきた約100年の歴史を、これからの100年へとつないでいきます。



親しまれてきた浴室やタイル絵、信楽焼のたぬきはそのまま引き継ぎます

江古田の街や銭湯が好きな皆様に支えられて

産学連携の取組み

浅間湯が目指すのは、これまで長年通ってくださった地域の皆様に愛され続けるとともに、学生や若い世代にとっても気軽に立ち寄れる、江古田の新たな憩いの場所となることです。

江古田は、日本大学芸術学部をはじめ、武蔵野音楽大学や武蔵大学などが集まる学生の街でもあります。この街ならではの文化や若い感性を浅間湯の新しい魅力につなげたいという想いから、近隣の日本大学芸術学部との産学連携として、「合同会社OFURO WORKSと日本大学芸術学部連携事業」を進めています。

今回の連携では、同学部デザイン学科の学生の皆さんに、リニューアル後の浅間湯の顔となるロゴやオリジナルキャラクターを制作していただいております。キャラクターのモチーフは、長年浅間湯の店先でお客様を迎えてきた信楽焼のたぬき。昔から親しまれてきた浅間湯の象徴に、学生ならではの新しい感性を吹き込みこんでいます。

今後も、店舗の暖簾やシャッターのデザインなどを学生の皆さんとともに制作していく予定です。単に銭湯の設備を新しくするだけでなく、学生と地域がつながり、街の文化をともに育てていく。そんな取り組みを通じて、浅間湯を江古田の新たな交流拠点へと進化させ、街全体の活性化にも貢献していきたいと考えています。



新しい浅間湯のロゴ



横組みロゴ



制作風景

【ロゴのコンセプト】

浅間湯の象徴であるたぬきの「変身」と、銭湯でさっぱりして生まれ変わったような気分になる感覚を重ね、たぬきの変身の瞬間に現れる「ドロン」の煙をモチーフにしました。煙は銭湯の湯気にも見える形とし、シルエットにはたぬきの尻尾を取り入れています。また、文字は湯に浸かっているようなデザインにしました。



日本大学芸術学部/デザイン学科 准教授
布目 幹人氏

長年にわたり江古田の街で親しまれてきた浅間湯のリニューアルに、学生たちと共に携われることを大変嬉しく思います。

芸術は、私たちの日常の中にも息づいています。学生たちの自由な発想と豊かな感性が、浅間湯の歴史や地域の魅力と結びつき、新たな価値を生み出すのではないのでしょうか。

生まれ変わる浅間湯が、人々の憩いの場であり続けるとともに、芸術と暮らしが交わり、新たな交流や文化が生まれる場所となることを心より期待しています。

クラウドファンディングの実施

約100年の歴史を持つ浅間湯を次の世代へとつないでいくためには、老朽化した設備の更新や、時代に合った施設へのリニューアルが欠かせません。しかし、銭湯の改修には多額の費用が必要となり、こうした設備投資の負担は、全国の銭湯が直面する大きな課題の一つとなっています。

そこで浅間湯では、2026年11月1日より、クラウドファンディングプラットフォーム

「CAMPFIRE」にて、リニューアルに向けた支援募集を開始します。

今回のクラウドファンディングは、改修費用の一部を募るだけでなく、東京都の公衆浴場承継マッチング事業を通じて歴史ある銭湯を引き継ぎ、次世代へ残していこうとする取り組みを、より多くの方々に知っていただくことも大きな目的としています。

支援者へのリターンとして、浅間湯のオリジナルTシャツやタオルに加え、リニューアルオープン前の浴室や、普段は立ち入ることのできないバックヤードを見学・撮影できる特別ツアーも用意しています。新しく生まれ変わる浅間湯を一足早く体験していただくとともに、銭湯の裏側やその魅力をより深く知っていただける機会を提供します。

プラットフォーム	CAMPFIRE
実施期間	2026年11月1日～30日
目標金額	100万円
プロジェクトページURL	https://camp-fire.jp/projects/985962/idea 現在はアイデア公開ページ。11月1日よりプロジェクトページに切り替わります
主なリターン	プレオープン特別見学ツアー、オリジナルTシャツ・タオルなど



CAMPFIREプロジェクトのメインビジュアル



オリジナルタオル（仮デザイン）



オリジナルTシャツ（仮デザイン）

浅間湯の概要

施設名称	浅間湯（せんげんゆ）
所在地	東京都練馬区栄町 3 8 - 3
アクセス	西武池袋線「江古田」駅徒歩2分、西武有楽町線「新桜台」駅徒歩6分、東京メトロ有楽町線・副都心線「小竹向原」駅徒歩13分
リニューアルオープン日	2026年12月上旬予定
営業時間	15：00～23：00
定休日	毎週月曜日 ※以前の金曜日から変更になります
施設・設備	ジェット、バイブラ、水風呂、立ちシャワー、サウナ
公式SNS	X @sengenyu_ekoda / Instagram @sengenyu.ekoda

合同会社OFURO WORKSの概要

会社名称	合同会社OFURO WORKS（オフロワークス）
所在地	東京都練馬区栄町 3 8 - 3
設立	2026年8月
事業内容	一般公衆浴場の経営
問い合わせ	メール： info@ofuroworks.jp ※取材に関するお問い合わせは、上記メールアドレスまたは浅間湯の公式SNSまでお願いいたします。



合同会社OFURO WORKS 代表社員
宮井 康太郎

大学卒業後、メーカー勤務など数社での勤務を経て現職。長年銭湯に通う中でその魅力を感じ、銭湯経営を志す。2021年東京都公衆浴場業生活衛生同業組合主催の「銭湯の担い手養成講座」を受講・修了。その後、「東京都公衆浴場承継マッチング事業」に応募し、浅間湯とのマッチングが成立。事業承継に向けて、合同会社OFURO WORKSを設立した。